

2010年度

公益財団法人東京子ども図書館

年次報告

〒165-0023 東京都中野区江原町1-19-10 2011年6月発行
Tel.03-3565-7711 Fax.03-3565-7712 URL http://www.tcl.or.jp

「心の一票」に支えられる 「公益財団法人」として

理事長 松岡享子



2010年度、わたしたちにとっていちばん大きな出来事は、公益法人の認定を受けたことでした。半世紀以上前、小さな家庭文庫としてはじまったひとつの試みが、旧民法のもとで法人になってから37年目。こんどは、法律の改正にともなって新しい身分(?)を獲得しました。「公益財団法人」というのが、その正式名称です。

公益法人と一般法人の最大の違いは、法人に寄付をした人が税金の控除を受けられるか否かです。移行手続きの過程で、公益法人であるためには、その活動、お金の使い方など運営のすべてが「公益」目的にかなっていなければならない、と、なんども強調されたので、以来、公益とは何か、また、法人であることの意味は何かと考えさせられています。そこで思い出したのが、設立20周年の折、「こどもとしょかん」の特集号に「私立図書館の存在意義」と題して出口正之氏がお寄せくださった論文です。人々の価値観が多様化する現在、公平と画一的な対応を基本とする行政は、人々のすべての要求に応えることができない。そこに、自発的な志に基づいてつくられる非営利団体の働きの場がある。民主主義はルールとしてはよいものだけれど、現実には政府や行政が自分たちの願いを実現してくれているとは思えないことが多く、一票の無力さを感じないではいられない。それでも社会に対してこうあってほしいという小さな思いをもつ人が、直接その思いを実現するために行動を起こすのが、非営利組織であり、自分たちの願いを具現してくれる組織に参加し、自発的に寄付をすることは、現行の民主主義の矛盾を解決する「心の一票」であり、これは、強制的に徴収される税金以上に大きな意味をもつ……。出口氏の指摘が、今、改めて胸を打ちます。

東京子ども図書館は、子どもたちに本のたのしみを、という多くの人々の願いを実現するために生まれた組織です。ここに連なるひとりひとりの思いを形に変えて社会に働きかけていくことが、わたしたちのなし得る「公益」だと信じます。

Ⅰ 概況

今年度最も大きな出来事は、当館が2010年10月1日をもって「公益財団法人東京子ども図書館」となったことです。

家庭文庫から出発した私たちが、より安定した活動が行えるように、東京都教育委員会より「財団法人」設立の許可を得たのが1974年。それから30年余り、政府や公的機関に委ねるだけでなく、民間の力で社会的な問題を解決しようという世界的な潮流のなかで、公益法人制度の見直しが行われ、公益法人制度改革三法が制定されたのを機に、2009年12月、当館も「公益財団法人」への移行申請を行う決断をしました。

その直後から申請のための準備が始まり、新評議員の選任、公益事業部門、収益事業部門、財団運営部門、事務局設置などの組織再編を行ったのに続き、今年度前半は、定款や各種規程、財務基準に合わせた会計処理の整備ほか、当館の活動が「公益の増進に著しく寄与する」ことをアピールする書類の準備に追われました。

5月27日、職員全員がパソコンの画面を見守るなか、最初の申請書類が送信されました。それから、内閣府の「公益認定等委員会事務局」の担当者のていねいな助言に従い、書き直しや追加説明を繰り返して、ついに9月28日、内閣



総理大臣より「公益財団法人」への移行が認定されたのです！

この移行の一番の利点は、当館へご寄付くださった方が、所得税、法人税の控除を受けられるようになったことです。これは長年願っていたことですので、実現して、ほんとうに嬉しく思っています。

新しい体制への移行を進めながら、例年通り、子どもたちへのサービスやおとなの方々への資料・情報提供、講習会や研修プログラム、出版など幅広い活動を行いました。新しい成果もいくつかありました。石井桃子さんが遺された蔵書を職員やボランティア・スタッフが精力を注いで整理し、3月には「石井桃子さんのへや」として公開するオープンハウスを催しました。また、愛知県豊橋市で活動を続けてきた在日日系ブラジル人の子どもたちへの読書支援では、子どもたちが家族と楽しめるような日本語・ポルトガル語併記の冊子「ブラジルのむかしばなし」を、多くの方々の協力を得て刊行し、市内の岩田小学校で配布することができました。

3月11日の震災後、1週間ほど臨時休館し、いくつかの催しものを延期、または中止にしましたが、幸い建物、資料に被害はありませんでした。今後、被災地域の子どもたちが本やお話から少しでも元氣を得られるように、息の長い働きかけを、みなさまのご支援を得ながら進めていこうと考えているところです。

一年のあゆみ

- 4月
 - ・研修生始業式（1日）
 - ・第5期わらべうた連続講座（8、22日、5/20、6/3、6/17、7/15）
 - ・昼のお話会（9日、7/9、10/8、1/21）
 - ・第27期お話の講習会始まる（16日）
- 5月
 - ・児童室こどもの日開館「おばあさんのいす」お話会（5日、9/22、1/26）
 - ・中野区立江原保育園招待（21日、他8回）
 - ・公益法人の電子申請（27日）
- 6月
 - ・2009年度事業報告と決算承認のための理事会・評議員会（3日）
 - ・中野区立江原小学校でお話（8、15、18日）
 - ・第5期研修プログラム開講（12日）
- 7月
 - ・短期お話の講習会・中級1日コース（8日）
 - ・定款変更承認のための理事会・評議員会（14日）
 - ・児童室夜のおはなし会（17日）
- 8月
 - ・短期お話の講習会・合宿コース（22、23日）
 - ・わらべうた1日講座（26、27日、2/17、2/18、3/10）
- 9月
 - ・池田正孝氏スライドとお話（10日、10/15、2/18）
 - ・第15期子どもの図書館講座（24日、10/29、11/26、1/28、2/4、2/25）
 - ・内閣総理大臣より公益財団法人の認定を受ける（28日）
- 10月
 - ・公益財団法人東京子ども図書館に移行（1日）
 - ・研修プログラム公開講座「先輩に聞く」（8日、11/13、2/15）
 - ・お話の講習会・第8期リフレッシュコース（17、18日）
 - ・学習院初等科でお話（22日）
 - ・（社）日本国際児童図書評議会・（財）文字活字文化推進機構主催の記念式典で松岡、渡部両理事が事例発表（24日）
 - ・「まめたろう」刊行（26日）
- 11月
 - ・中野区立緑野中学校でお話（12日）
 - ・バザー（23日）
 - ・年度前期の事業報告と決算承認、年度後期の事業計画と予算案承認のための理事会（25日）
- 12月
 - ・年度前期の事業報告と決算承認、年度後期の事業計画と予算案承認のための評議員会（4日）
 - ・「まめたろう」出版記念お話会（10日、1/25）
 - ・かつら文庫クリスマス会（11日）
 - ・児童室クリスマス会（18日）
- 2月
 - ・安井清子氏写真展（8～26日）
 - ・第26期お話の講習会修了お話の会（11日、修了式3/4）
 - ・「子どもに語るイギリスの昔話」出版記念・月例お話の会（22日）
- 3月
 - ・「三月ひなのつき」を読む会（3日）於・かつら文庫
 - ・ひなのつきオープンハウス（5日）於・かつら文庫
 - ・藤本朝巳氏講演会（11日）
 - ・2011年度事業計画と予算案承認のための理事会（15日）
 - ・2011年度事業計画と予算案承認のための評議員会（26日）

Ⅲ 会計報告

今年度の会計報告は、2期に分かれております。前期（2010年4月～9月）は特例民法法人として、後期（10月～2011年3月）は、新しい公益法人としての会計のやりかたに従ったためです。そのため、前期から後期への繰越金の金額が違ってありますが、これは、売掛債権・預かり金がいっていないためです。

加えて、昨年度までは、年度内にいただきました次年度分の賛助会費と機関誌購読料は、その年度の収入に計上しておりましたが、今年度からは、それを前受金として処理することになりました。従って、例年より入金額が少なくなり、数字上は赤字がでる結果となっておりますが、通年でみれば、実質的には例年とさほど変わりなく、わずかながら繰越金をもって年度をしめくることができました。みなさまのご支援のおかげと感謝いたします。

2010年度前期会計報告（2010/4/1～9/30）
 収入総額 55,955,990
 支出総額 53,655,983
 次期繰越収支総額 8,077,686（単位：円）

科目	金額
基本財産運用	16,170,241
利息収入	82,554
印税収入	15,920,774
配当金収入	166,913
寄付収入	1,745,830
賛助会費	4,458,800
事業収入	23,035,296
出版物売上	13,106,249
機関誌購読収入	3,457,609
講習会収入	2,022,300
講演会収入	0
お話の会収入	488,551
講師料収入	2,121,650
登録料収入	0
施設使用料収入	132,500
取材費収入	1,706,437
雑収入	115,823
預金利子収入	6,729
雑収入	109,094
特定預金取崩	10,430,000
石井桃子奨学金	8,000,000
図書館積立金	1,000,000
退職金積立金	1,430,000
(当期収入合計)	55,955,990
前期繰越	5,777,679
収入合計	61,733,669

●支出の部

科目	金額
事業費	30,447,559
人件費	20,377,860
図書館費	328,019
機関誌発行費	2,007,616
講習会費	870,629
講演会	417
お話の会	106,547
調査研究費	500
出版費	4,445,035
人材育成費	1,437,110
催事費	0
広報活動費	125,650
おばあさんのいす事業	748,176
管理費	17,939,937
人件費	9,720,735
事務費	1,125,282
一般諸費	5,495,715
会議費	46,770
租税公課	1,167,200
事業活動費	384,235
借入金返済	3,838,487
退職金積立	1,430,000
(当期支出合計)	53,655,983
次期繰越金	8,077,686
支出合計	61,733,669

2010年度後期会計報告（2010/10/1～2011/3/31）

●収支計算書
 事業活動収入 46,140,722
 事業活動支出 -40,723,239
 特定預金取崩 6,350,000
 固定資産取得支出 -432,475
 貸入金返済支出 -3,795,447
 当期収支差額 7,539,561
 前期繰越収支差額 5,564,488
 次期繰越収支差額 13,104,049（単位：円）

●当期正味財産増加額

科目	公益目的会計	収益事業会計	法人会計	合計
基本財産運用	10,123,681	0	0	10,123,681
利息収入	52,051			52,051
印税収入	187,095			187,095
配当金収入	9,884,535			9,884,535
寄付収入	7,032,669		100,500	8,037,669
賛助会費	267,000			267,000
事業収入	23,364,509	5,460,490	0	28,824,999
機関誌購読収入	963,251			963,251
講習会収入	2,178,500			2,178,500
講演会収入	143,500			143,500
お話の会収入	664,300			664,300
講師料収入	2,022,480			2,022,480
登録料収入	35,000			35,000
施設使用料収入	142,000			142,000
出版物売上	17,057,728	5,460,490		22,518,218
取材費収入	157,750			157,750
雑収入	206,598	0	124,097	330,695
預金利子収入	957		176	1,133
雑収入	205,641		123,921	329,562
当期正味財産増加額	40,994,457	5,460,490	1,129,097	47,584,044

●当期正味財産減少額

科目	公益目的会計	収益事業会計	法人会計	金額
事業費	46,721,062	4,014,703	0	50,735,765
人件費	26,808,152	393,457		27,201,609
図書館費	166,826			166,826
機関誌発行費	1,785,838			1,785,838
講習会費	929,828			929,828
講演会	66,194			66,194
お話の会	213,515			213,515
調査研究費	77,067			77,067
人材育成費	1,760,750			1,760,750
催事費	76,090			76,090
広報活動費	1,100,000			1,100,000
おばあさんのいす事業	885,486			885,486
出版費	8,334,536	2,784,847		11,119,383
一般諸費	2,349,259	604,250		2,953,509
減価償却費	2,167,521	197,149		2,364,670
租税公課		35,000		35,000
管理費	0	0	7,661,604	7,661,604
人件費			5,001,550	5,001,550
会議費			37,100	37,100
事務費			1,851,235	1,851,235
一般諸費			223,527	223,527
租税公課			46,400	46,400
減価償却費			396,345	396,345
支払利息			105,447	105,447
什器備品償却	58,298		23,037	81,335
当期正味財産減少額	46,779,360	4,014,703	7,684,641	58,478,704
内部取引	-15,043,181	-1,534,196	16,577,377	0
当期一般正味財産増減額	-784,418	-88,409	-10,021,833	-10,894,660
正味財産期首残高	612,621,814	40,492,006	106,755,850	759,869,670
正味財産期末残高	591,793,730	40,403,597	116,777,683	748,975,010